■中津川市地域公共交通網形成計画に基づく実施事業

資料３

| 目標 | | 事業名 | 事業概要 | 実施主体 | 計画書掲載頁 | スケジュール（2018年 2019年 2020年 2021年 2022年） | 2019年度の取り組み | これまでの主な取り組み |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標1<br>住み続けられる街に～定住を支える公共交通 | (1)公共交通で定住ができる街に | 1-1<br>高校生のバス通学を支援します | 市街地まで距離のある地域から高校へ通う学生を支援する「高等学校等バス通学費補助金」制度を継続し、自宅から学校へ通える手段を確保し、利用者の確保につなげます。 | 中津川市 | 10 | 継続実施 | ・通学定期券購入額から月額1万円を差し引いた額の1/2を補助<br>・加子母、付知地区の保護者会で説明会を実施<br>・広報紙やホームページで制度を周知 | ・2018年度は181件の申請<br>・計14,679千円を補助<br>・申請者の満足度は93.9% |
| | | 1-2<br>高校生のバス通学者を増やします | バス路線や時刻表、定期券などの情報を提供し、バスでも高校へ通学ができることを周知するためのチラシの配布、学校の保護者会などでバス利用をすすめます。 | 中津川市 | 11 | 新規実施 | ・時刻改正に合わせてチラシを修正<br>・重点地区である福岡、苗木地区で進路選択を行う時期に中学3年生に向けてチラシを配布 | ・福岡、苗木地区向けに高校通学でバス利用をすすめるためのチラシを作成（2018/12）<br>・ホームページに掲載（2018/12） |
| | | 1-3<br>市民病院行きバスの乗り継ぎを円滑にします | 乗り継ぎ時間を極力短縮して円滑に乗り継ぎができるように調整します。バスの運用上可能であれば、乗降することなく同じバスで中津川市民病院へ向かうことができるように調整します。 | 交通事業者、中津川市、公共交通会議 | 12 | 随時実施 | ・随時実施 | ・時刻を改正する際には、乗り継ぎ時間が短縮できるよう調整 |
| | | 1-4<br>パーク＆ライドで公共交通の利用を推進します | 自宅から最寄りのバス停までは自家用車を利用し、バス停付近の駐車場へ気軽に駐車し幹線道路はバスに乗り換えて出かけられるように、「パーク＆ライド駐車場」の利用を推進します。 | 交通事業者、中津川市 | 13 | 検討協議<br>新規実施 | ・パークアンドライド利用を呼び掛ける<br>・新規実施可能場所の調査 | ・下付知バス停で事業を開始（2018/6）<br>・付知地区でチラシ配布と報道発表を実施（2018/6） |
| | (2)公共交通でおでかけできる街に | 1-5<br>公共交通の運行を継続します | 交通事業者は、安全・安心・快適な交通サービスを提供し、地域の足となる公共交通を継続して運行します。市は、路線バスやタクシーでは対応ができない地域内移動をカバーするために、交通事業者や地域住民組織と連携してコミュニティバスを運行します。 | 交通事業者、地域住民組織、中津川市、公共交通会議 | 14 | 継続実施 | ・交通事業者は、地域の足となる公共交通の運行を継続<br>・市は、既存の公共交通機関では対応しきれない地域内交通を確保するために、市内9地区でコミュニティバスの運行を継続 | ・北恵那交通㈱でUSB電源付き車両を新規導入し、利便性の向上を図る（2018/4）<br>・運行を継続 |
| | | 1-6<br>タクシーを活用したおでかけを推進します | タクシーが利用できる地域において、タクシーを活用したおでかけを推進します。制度を開始する前に実証実験を行います。実証実験を通して制度の有効性を検証し、本格実施を開始するか否かの判断を行います。 | 中津川市、交通事業者 | 15 | 事例研究、実証実験、実験結果に応じて実施または取りやめ | ・地区説明会の実施<br>・実証実験の開始<br>・実験結果の検証 | ・公共交通会議幹事会で多治見市の事例を視察（2018/8）<br>・実施方法の検討 |
| | | 1-7<br>明知鉄道の運行を支援します | 阿木地区の重要な交通手段である明知鉄道の安全運行に必要な運営費や維持修繕費などへの補助を行い、恵那市と連携して運営を支援します。 | 中津川市、交通事業者 | 16 | 継続実施 | ・恵那市と連携し、利用促進など活動面の支援と、国や県の補助事業を活用した運営面の支援を継続<br>・明知鉄道の時刻改正に合わせたコミュニティバスの時刻改正を実施（2019/4） | ・国や県の補助事業を活用した運営面の支援（2018年度9121千円）<br>・明知鉄道の時刻改正に合わせたコミュニティバスの時刻改正を実施（2018/3） |
| | (3)使ってみたくなる公共交通がある街に | 1-8<br>路線バスとコミュニティバスの乗り継ぎ割引を行います | 路線バスとコミュニティバス相互の乗り継ぎを進めるため、路線バスとコミュニティバスを乗り継いで利用した場合には、コミュニティバス運賃相当分の割引を検討します。 | 中津川市、交通事業者 | 17 | 検討協議<br>新規実施 | ・加子母、付知、福岡地区で実証実験を開始予定（2019/10） | ・今後の事業実施に向けた検討 |
| | | 1-9<br>免許返納者へのタクシー割引制度を継続します | タクシー事業者では、運転免許証を自ら返納し、運転経歴証明書の交付を受けた高齢者への運賃割引制度を設けています。今後もこの制度を継続し、運転免許証を返納した高齢者が気軽にタクシーを利用できる環境をつくります。 | 交通事業者 | 17 | 継続実施 | ・継続実施 | ・高齢者への運賃割引制度を継続 |
| | | 1-10<br>タクシー車両のバリアフリー化を推進します | 高齢者や子育て中の方、障がいのある方など、誰もが気軽に公共交通を利用できるように、交通事業者が今後車両を更新する際には、UD（ユニバーサルデザイン）タクシーを導入し、バリアフリー化を進めます。 | 交通事業者 | 18 | 随時実施 | ・随時実施 | ・今後車両を更新する際には、UDタクシーを導入し、バリアフリー化を進める。 |

■中津川市地域公共交通網形成計画に基づく実施事業

資料３

| 目標 | | 事業名 | 事業概要 | 実施主体 | 計画書掲載頁 | スケジュール（2018年～2022年） | 2019年度の取り組み | これまでの主な取り組み |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標2<br>来てよかった、また来たい街に～観光と利用促進 | (1)観光の取り組み | 2-1<br>観光資源を生かした公共交通を運行します | 市内にある観光地に公共交通を利用して訪れることができるよう、新たなバス路線の新設などを通じて市内観光を推進し、公共交通の利用者増につなげます。 | 交通事業者、協力団体、中津川市、公共交通会議 | 19 | 検討・協議 → 新規実施 | ・北恵那バス苗木城線の運行（2019年度は春と秋に実施）<br>・濃飛バス高山馬籠線運行開始（2019/4～11）<br>・新たな観光路線の検討 | ・北恵那バス苗木城線の運行（2018/9～11）<br>・1日4往復、30日間運行<br>・利用者数は901人（30人/日） |
| | | 2-2<br>公共交通を使ったおでかけ情報を発信します | 市内観光施設などへのアクセス手段の一つとして公共交通の利用ができることをPR するために、チラシやパンフレット、ホームページなどでの情報提供を充実します。 | 中津川市、協力団体、地域住民組織、交通事業者、公共交通会議 | 20 | 検討・協議 → 新規実施 | ・公共交通を利用した「観光モデルコース」の提案に向けた検討<br>・コミュニティバスの運行時間に合わせた公民館講座の開催（2019/4） | ・北恵那バス苗木城線をPRするチラシや、ホームページ、ポスター、動画を作成。利用者アンケートを取ることで、PRするターゲットを把握<br>・中津川駅～下呂駅乗継チラシの作成（2018/8） |
| | (2)利用促進の取り組み | 2-3<br>路線バスの企画切符を発行します | 事業者が利用促進のために企画切符を発行する場合には、PRするためのチラシの配布や、ポスターの掲示などの活動を支援し、路線バスの利用促進につなげます。 | 交通事業者、協力団体、中津川市、公共交通会議 | 21 | 継続実施 → | ・北恵那交通㈱で「おんぼいの湯バスセット券」と「がくせいホリデーきっぷ」の販売を継続 | ・中津川市立図書館で企画切符の利用促進（2018/4）<br>・「おんぼいの湯バスセット券」の利用可能区間が樋の口バス停（福岡）まで拡大（2018/4） |
| | | 2-4<br>ラッピングバスやデコレーションバスを運行します | 公共交通を利用するきっかけ作りや、バス利用者がバス車内で楽しいひと時を過ごせるよう季節のイベントに合わせて車内装飾を施したバスを運行します。 | 交通事業者、中津川市 | 21 | 継続実施 → | ・地歌舞伎ラッピングを行ったバス車両を運行（北恵那バス1台、コミュニティバス3台）<br>・クリスマスに車内装飾を施したバスを運行（2019/12） | ・地歌舞伎ラッピングを行ったバス車両を運行（北恵那バス1台、コミュニティバス3台）<br>・クリスマスに車内装飾を施したバスを運行（2018/12） |
| | | 2-5<br>公共交通の利用促進活動を行います | バスやタクシーなどの公共交通や、消防車両などの乗り物に親しんでもらいながら、公共交通の必要性や役割を考えるきっかけづくりの場を作り利用促進を図ります。 | 中津川市、協力団体、地域住民組織、交通事業者、公共交通会議 | 22 | 継続実施 → 随時見直し → | ・六斎市で開催（2019/8）<br>・健康福祉まつりで開催（2019/10） | ・健康福祉まつり（2018/10）<br>・福岡産業祭（2018/11） |
| | (3)公共交通の利用環境向上の取り組み | 2-6<br>経路検索の充実に向けたデータ整備を行います | 市内の路線バスやコミュニティバスでも、「標準的なバス情報フォーマット」に基づいたデータ作成を進めます。データは経路検索事業者などに提供し、公共交通情報のインターネットによる経路検索を可能とします。 | 交通事業者、中津川市、協力団体、公共交通会議 | 23 | 新規実施 → | ・改正があった場合にはデータ更新<br>・データ更新を継続する体制の構築 | ・市コミバスと北恵那バスの標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備完了（2018/4）<br>・オープンデータ化（2018/5）<br>・全国各地で中津川市の取り組みを紹介 |
| | | 2-7<br>公共交通オープンデータを活用します | 一つのデータ整備によってさまざまな施策に活用ができる「ワンソース・マルチユース」で、わかりやすく、使いやすい公共交通サービスの提供と、活性化に向けた取り組みを行います。 | 交通事業者、中津川市、協力団体、公共交通会議 | 24 | 検討・新規実施 → | ・公共交通オープンデータを活用した事例の研究、実施 | ・Google経路検索に対応（2018/5）<br>・デジタルサイネージ実証実験を坂下病院で実施（2018/5）<br>・Googleリアルタイム経路検索に対応（2018/11）<br>・ICT地域活性化大賞優秀賞受賞（2019/3） |
| | | 2-8<br>にぎわいプラザバス待合所を改善します | 快適なバス待合所の環境を作り、鉄道やバス利用者に情報提供ができる設備を備え、円滑な乗り継ぎやバス利用の利便性を高めるための具体的な改善内容を検討し、可能なものから順次実施していきます。 | 中津川市、交通事業者 | 25 | 検討・協議 → 随時実施 → | ・今後の事業実施に向けた検討 | ・待合所設置のサイネージ表示方法の検討<br>・待合所に掲示する時刻表・路線図の内容の検討 |
| 目標3<br>運転手不足解消に向けて～誰もが活躍する街に | | 3-1<br>運転手の採用に向けて取り組みます | 求職者と、求人事業者との出会いの場である就職説明会などに積極的に参加し、運転手の採用拡大に努めます。 | 交通事業者、中津川市、公共交通会議 | 26 | 継続実施 → | ・岐阜県への移住・就業希望者に向けて、移住とバス運転手の業務に焦点を当てた相談会に定住推進課と北恵那交通㈱が参加（2019/5、東京） | ・業界全体として課題解決に取り組むため、交通事業者が合同で開催する相談会などを検討 |
| | | 3-2<br>女性限定の運転手体験会を開催します | 「車の運転が好き」、「大型の車を運転してみたい」、「人と接することが好き」という女性が気軽に参加でき、運転手という職業を身近に感じ、その仕事への理解を深めていただくために、女性に限定した職場体験会を開催し、女性運転手の採用拡大につなげます。 | 交通事業者、中津川市、公共交通会議 | 27 | 検討・協議 → 新規実施 → | ・今後の事業実施に向けた検討 | ・各地での開催方法の事例研究 |